



令和6年産 麦作情報 (Vol.1)

令和5年12月26日
宮城県石巻農業改良普及センター
TEL:0225-95-7612 FAX:0225-95-2999
http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/et-sgsin-n/

今後のポイント:排水対策、麦踏み

1 気象経過(10月以降)

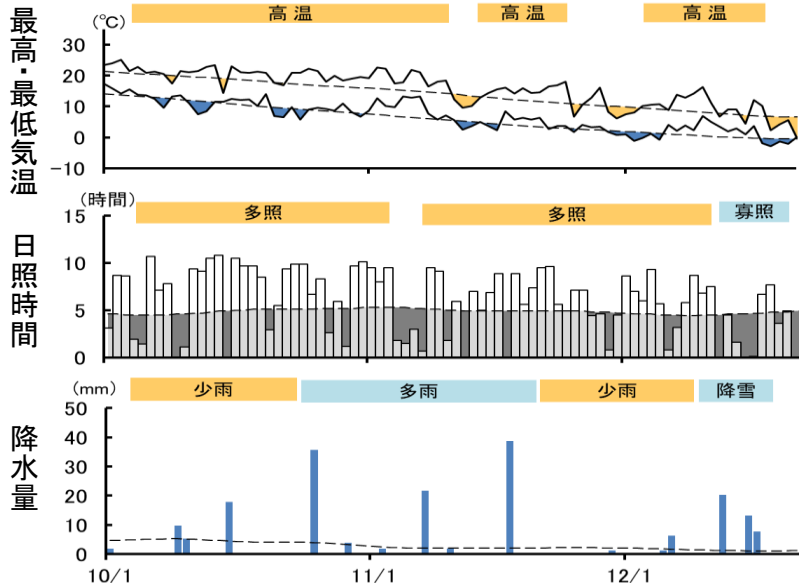


図1 気象経過(アマダス石巻)
※上:最高・最低気温、中:日照時間、下:降水量、点線は平年値

◆ 東北地方 1か月予報(12/23~1/22)

【気温】	10	30	60
【降水量】	40	30	30
【日照時間】	30	40	30

■ 低い(少ない) ■ 平年並 ■ 高い(多い)

1週目	30	50	20
2週目	10	10	80
3~4週目	20	40	40

■ 低い ■ 平年並 ■ 高い

図2 季節予報(12/21仙台管区气象台発表)
※ 上図:1か月の気温、降水量、日照時間予報、
下図:週ごとの気温予報

◆ 気象経過

- ・平均気温…10月はやや高く(平年差+0.5°C)、11月は高く(平年差+1.6°C)経過しました。
- ・日照時間…10月から12月上旬にかけて多照に推移しましたが、12月中旬は寡照でした。
- ・降水量…10月は少雨(平年比55%)、11月上中旬は平年より多く、下旬から12月上旬にかけて少雨になりました。また12月中旬は降雪により降水量が多くなりました(平年比333%)。

2 生育調査ほの生育状況(12月15日現在)

- ◆ 播種日は、すべての調査ほ場で平年より早くなりました。
- ◆ 草丈は、調査した大麦4ほ場で平年を上回り、シラネコムギでは鳥害のため平年を下回っています。
- ◆ 茎数は、調査した大麦4ほ場で平年を上回り、シラネコムギでは平年を下回っています。
- ◆ 幼穂は、調査した大麦4ほ場で確認されました。シラネコムギは一部で0.1mmほど確認されました。
- * 水沼ホワイトファイバー、太田シラネコムギでは鳥による葉の食害が見られました。

表1 生育調査ほ12月15日調査結果

品種	調査ほ(旧市町)	条間(cm)	播種日(月日)			草丈(cm)			茎数(本/m ²)			幼穂長(mm)		
			本年	前年差	平年差	本年	前年差	平年差	本年	前年比	平年比	本年	前年差	平年差
シュンライ	給人町(桃生)	29.3	10/02	-5日	-15日	26.7	+12.8	+13.5	747	115%	133%	1.2	-0.4	+0.4
ミノリムギ	高須賀(桃生)	30.9	10/14	-1日	-8日	15.4	+2.4	+2.4	542	94%	152%	0.8	+0.7	+0.5
	真野(石巻)	31.8	10/28	+3日	-2日	11.4	-0.4	+2.0	443	107%	132%	0.6	+0.5	+0.5
ホワイトファイバー	水沼(石巻)	30.5	10/14	-1日	-8日	14.8	+3.3	+3.3	818	185%	166%	1.1	+0.9	+0.7
シラネコムギ	太田(桃生)	29.2	10/25	-2日	-2日	11.6	-2.7	-1.2	349	152%	91%	0.0	0.0	-0.1

※ 平年差・比は過去5か年の平均値との比較。播種日の+は遅い、-は早いことを示す

※ 幼穂長は9茎の平均

3 石巻管内の麦類播種状況

◆播種期

稲刈りが順調に進み、10月の降雨も少なかったことから、約95%のほ場が10月以内に播種作業を終えました。

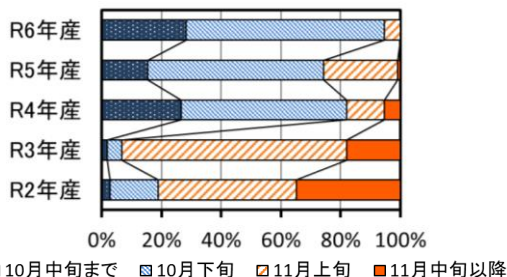


図3 石巻管内(石巻市、東松島市)の直近5年間の播種状況

4 今後の管理

(1) 排水対策

◆排水状況を確認し、手直しをしましょう

出芽～生育初期の麦類は湿害に弱いので、融雪や降雨によるほ場の停滞水を速やかに排出することが重要です。暗きよが閉じているほ場がないか、再点検しましょう。また、明きよに停滞水が溜まっている場合は手直しを行きましょう。

◆明きよを施工しましょう

ほ場内に明きよをつくることにより降雨や融雪水の迅速な排出、および地温が上昇することで、コムギの初期生育が良好となることがわかっています。

逆に、出芽後期から分けつ期にかけて湿害を受けると、根の伸長抑制による浅根や分けつの減少、葉の黄化が起こり、生育不良になります。

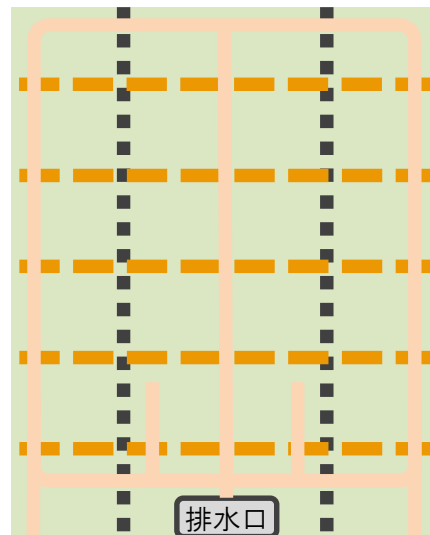


図4 明暗渠の施工例

- 明きよ
- 弾丸暗きよ
- 本暗きよ

(2) 麦踏み

○麦踏みの時期と回数目安

point! 3～4葉期(年内)に1回 + 越冬後茎立ちまで(大麦:3月上旬頃、小麦:3月下旬頃)に1～2回。
* 暖冬年は生育が早まるため、時期を逃さないよう注意!

○麦踏みの注意点

「生育が遅れている(3葉期未満)」「生育不良」「ほ場が湿っている」際には、無理に麦踏みを実施すると生育抑制効果や土壌の締固めのために生育に悪影響を及ぼす場合があります。麦の生育とほ場の状態を見ながら実施しましょう。

◆R4年産では、冬季に土が凍み上がり、株が浮き上がって根元が地表に出たため、枯死や生育不良となったほ場が一部で見られました。砂の割合が多いほ場(土が持ち上がりやすい)、排水不良のほ場では、寒さが厳しくなる前に、生育ステージに関係なく麦踏みを強行する判断が必要になる場合もあります。

麦踏みの効果 { 【株の踏圧】→ 分けつ発生促進、深根化・倒伏軽減、生育の均一化
【土壌の踏圧】→ 凍上害(霜や凍結による麦の持ち上がり)や干害の防止

(3) 雑草対策 ～雑草は追肥の効果を小さくし、病害虫の発生を助長します～

雑草多発ほ場では雑草繁茂による競合を避けるため、除草剤散布を検討しましょう。